

一般会計
過去最高額

33億3,000万円
(前年対比 +10億5,000万円 +46.1%)

令和5年度
当初予算の
概要を
お知らせします

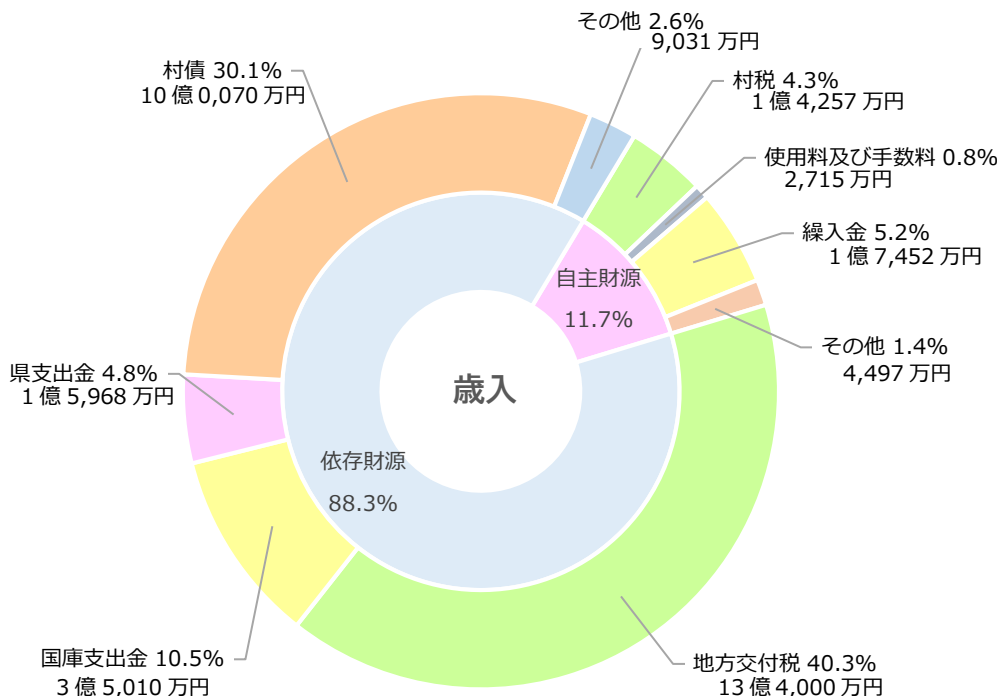
■当初予算の概要

令和5年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症との共存を前提に感染拡大の防止と住民生活・経済活動の維持との両立が持続的に可能となるよう物価高騰対策等の影響を踏まえた対策や人口減少に歯止めをかけるための未来への投資事業に重点的に配分しました。

少子化に対応した義務教育学校の整備により、当初予算規模としては、過去最大となりました。

■一般会計の内訳

歳入の特徴(前年度比)



村税 Δ 300万円(Δ 2.1%)

個人村民税、固定資産税の減

国庫支出金

+1億7,283万円(+97.5%)

義務教育学校建設に伴う国庫負担金の増

繰入金 +9,426万円(+117.5%)

生活応援商品券事業、義務教育学校建設に伴う特定目的基金繰入金の増

村債 +7億9,700万円(+391.3%)

義務教育学校建設に伴う借入金の増

義務教育学校建設に必要な財源は、国の補助金をはじめ、これまで計画的に積立ててきた基金(貯金)や財政措置の高い起債(借金)を活用することで確保します。これにより、世代間の公平性を保ちつつ、将来的な財政負担を軽減します。

■令和5年度の主な事業

●未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実

・義務教育学校建設 11億7,671万円

小中一貫教育を導入した義務教育学校を整備し、魅力と特色のある教育環境づくりを推進します。

・複式学級の解消 520万円

村単独で教職員を加配し、すべての子ども達にゆきとどいた教育を行います。

・外国語教育の充実 918万円

ALT(外国語指導助手)を1校に1人配置し、児童生徒に生きた英語力を高める授業を実施します。

●コロナ禍からの経済活動正常化に向けた生活支援

・生活応援商品券事業 2,818万円

原油価格・物価高騰に直面する住民や地域経済を支えるため、全世帯に商品券(共通券・飲食券・灯油券)を配付します。

■当初予算の総額 43億8,570万円

会計名	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
一般会計	33億 3,000万円	22億 8,000万円	10億 5,000万円	46.1%	
特別会計	国民健康保険特別会計	3億 1,200万円	3億 950万円	250万円	0.8%
	簡易水道特別会計	3,650万円	4,830万円	△ 1,180万円	△ 24.4%
	生活排水特別会計	3,090万円	3,050万円	40万円	1.3%
	介護保険特別会計	6億 2,510万円	6億 4,000万円	△ 1,490万円	△ 2.3%
	後期高齢者医療特別会計	5,120万円	4,980万円	140万円	2.8%

歳出の特徴(前年度比)

人件費 △3,880万円(△8.8%)

職員数の減など

維持補修費

△2,052万円(△13.6%)

林道点検・維持補修費の減
橋梁・トンネル長寿命化計画策定
終了による減など

補助費等 △1,543万円(△3.3%)

新型コロナウイルス感染症対策
における住民・事業者支援事業
の減など

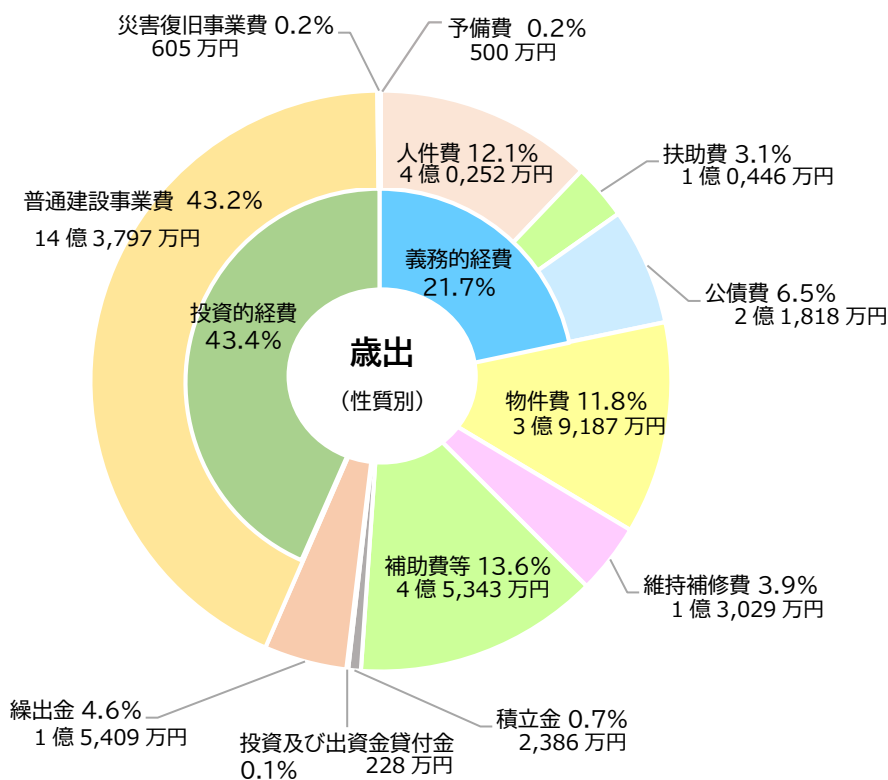
繰出金 △733万円(△4.5%)

自然休養村特別会計の廃止によ
る一般会計繰出金の減など

普通建設事業費

+11億4,025万円(+383.0%)

義務教育学校建設事業費の増



●人口減少問題への対応 定住・交流人口の増加拡大を目指し、住宅の整備や観光推進に取り組めます。

- ・空き家活用住宅整備 1,500万円
- ・南牧村観光協会設立 運営費補助 350万円
- ・地域おこし協力隊の設置 1,561万円
- ・南牧村自然公園施設改修 1,400万円
- ・移住支援コーディネーターの配置 390万円
- ・村営住宅建設 5,432万円

●災害に強い村づくり

住民の生命と生活に直結するインフラ施設について、定期的な点検と適切な維持管理により、安全・安心を確保します。

- ・農道落石防護対策 700万円
- ・トンネル橋梁定期点検 2,150万円
- ・村道舗装維持補修 2,200万円
- ・橋梁補修 7,000万円

●SDGs 達成への取り組み

脱炭素社会の実現に向け、適切な森林環境の保全や公用車の電気自動車への転換を推進します。

- ・森林環境整備 4,252万円
- ・電気自動車購入 286万円